



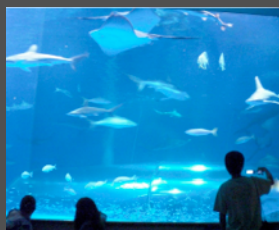
HB-style

Vol. 18 8月号

特集 H22 年度ゼミ合宿

光物性研究室の恒例行事であるゼミ合宿。今年は島根県浜田市を舞台に観光やゼミ、BBQ などを行った。企画発案から遂行まで協力して取り組んだ M1 一同がゼミ合宿を振り返る。

ページ 2, 3



光物性研究室カレンダー

猛暑続きの 8 月。光物性研究室ではゼミ合宿や国際学会への出席などがあり、お盆休み返上で研究活動に取り組む者もいた。

ページ 4



H22 年度 光物性研究室 ゼミ合宿

ゼミ合宿への思い入れ

去年のゼミ合宿のクオリティの高さを体感し、企画者である M1 にはゼミ合宿にかける共通の想いがあった。去年のゼミ合宿を超えたい、全員が満足する合宿にしたい。この思いを胸に計画を繰り返し推敲し、下見をして準備を整えた。

出発の朝

集合時間にはまだ少し早いこの時間、俺たち 3 人は研究室に集合し、計画の最終確認を行った。ゼミ合宿はすぐそこまで迫っているのにどれだけ確認しても不安が拭えない。仕方がない、ここまできたらやるしかない、と心を決めた。今日の日を記念して集合写真を撮った。みなさん、笑って、笑って...。俺たちの気持ちを代弁するような一枚となってしまった。

鳥根県浜田市へ

今年のゼミ合宿の舞台は鳥根県浜田市である。目的地へ向かう車割りは工夫をした。研究室を飛び出して旅に出るのだから、先生や先輩、後輩、研究テーマなんて関係なく親睦を深めようぜ。組み合わせを多彩にした結果、車内では和気あいあいと会話も弾み、良い雰囲気にも包まれた。



アクアス



最初の目的地は「しまね海洋館アクアス」。シロイルカのパブルリングで有名な中国地方最大の水族館である。研究室メンバーがキラキラした瞳で水槽を覗き込み、童心に帰った姿を見たとき俺達は心の中でガッツポーズをした。正直この歳で水族館に行って楽しめるのか不安だったが、杞憂に終わった。シロイルカも観ることができ、大満足の内にアクアスを後にした。

ゼミ発表

旅館「青海荘」に着き、ゼミ発表を行った。学部4年生の市来健吾・岡本和晃・前川貴政の3人が、8月末に行われる釜山大学とのワークショップの発表練習を兼ねて、英語で発表をした。初めてのゼミ発表にもかかわらず、英語で堂々と発表する3人の姿を見て、これから研究者として成長していく姿が目に見えた。



宴会

今日の締めくくりの宴会では、地元で陸揚げされた魚料理に舌鼓を打ち、ビールを楽しんだ。4年生が加入して4ヶ月。これまでの学生生活からの変化で戸惑いや人見知りもあったであろう。しかし、今日の頼もしい発表や、先輩や先生方と楽しく会話する様子を見るから今回のゼミ合宿は無駄ではなかったと確信した。達成感を感じつつ眠りについた。



仁摩サンドミュージアム

仁摩の近くにある琴ヶ浜の砂浜は 500 万年かけてできた鳴き砂海岸がある。この地域は砂で有名で、中国地方唯一の砂の博物館「仁摩サンドミュージアム」がある。様々な展示の中で特に有名なのが 1トンの砂を一年かけて落とすという一年砂時計である。1 秒間に流れる砂の量や容器形状など数式を用いて解説されており、方々でディスカッションが沸き起こっていた。俺たち典型的な理系集団は、数式を見ると熱くなってしまう。微笑ましい光景だった。



BBQ

ゼミ合宿最後のイベントは浜辺でのバーベキュー。この日は天候に恵まれすぎて灼熱だった。食を満たすという欲望に向かって手分けして火を起こした。手こずって時間がかかってしまった。「空腹」だ。いや、これは「飢え」だ。肉を焼く香ばしい匂いも手伝い、食が大いに進んだ。海を見ながらの BBQ は一味違った。

広島大学へ

あとは無事に広島大学へ戻るだけであった。家に帰るまでがゼミ合宿。それを合言葉に安全運転を心がけた。全員の無事を確認し、今年度のゼミ合宿の全日程を終えた。

企画の段階では不安ばかりが先行したが、研究室メンバーが広く暖かい心で見守ってくれて、ゼミ合宿は大成功に終わった。とても楽しかった。今回が次回につながるゼミ合宿であったことを願っている。 M1 一同



2010年8月 光物性研究室カレンダー

07.31 (土) ~ 08.01 (日) H22年度 光物性研究室ゼミ合宿

晴天に恵まれた7月31日と8月1日、毎年恒例となった光物性研究室のゼミ合宿が島根県浜田市で開催された。今年のゼミは、8月末に広島大学で開催される日韓学生 workshop を見据え、学会参加者4年生による論文紹介が英語で行われた。この日を中間目標とし、大学院入試や口頭発表の準備と大忙しだった市来、前川、岡本は緊張しながらも堂々と発表を行い、研究室メンバーからの質問に的確に答えた。詳しくは今月号の特集をご覧ください。



08.23 (月) ~ 24 (火) 大学院理学研究科 入学試験

8月23、24日の両日、広島大学大学院理学研究科の一般入学試験が行われた。初日に英語、力学、電磁気学、量子力学、熱統計力学の筆記試験を、二日目に配属希望研究室のスタッフとの面接が行われた。

入学試験情報：http://www.hiroshima-u.ac.jp/sci/in_juken/annai/index.html

08.23 (月) ~ 27 (金) 18th International Vacuum Congress (IVC-18)

8月23~27日にかけて、18th International Vacuum Congress (IVC-18) が中国北京で開催された。光物性研究室からはD2 Jiang と Ye が、M2 から黒田が研究成果を発表した。

18th International Vacuum Congress (IVC-18)

August 23-27, 2010, Beijing International

08.29 (日) ~ 30 (月) 2010 Japan-Korea Student Workshop

8月29-30日、広島大学学生会館にて日本-韓国の学生による workshop が開催された。当研究室からは、学部4年生の市木、岡本、前川、M2の黒田、古本、D1の中島が口頭およびポスターにて研究成果を発表した。この workshop でD1中島が「Synchrotron-radiation Angle Resolved Photoemission Study of Fermi Surfaces of BaFe₂As₂」の題目で Best Poster Presentation Award を受賞した。



編集部からのお知らせ

スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

企画の募集

取り上げてほしい企画やテーマを募集しています。気軽にお寄せください。

今後の企画について

「光物性 OB / OG に聞きました」、「理学部 D 棟」、「HiSOR II 計画の現状」、「Igor」、「教えて！中島先生!!」、「光物性七不思議」などのトピックを考えています。

発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休

刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集：安齋太陽 (写真中)
編集協力：古本一仁 (右)、黒田健太 (左)

